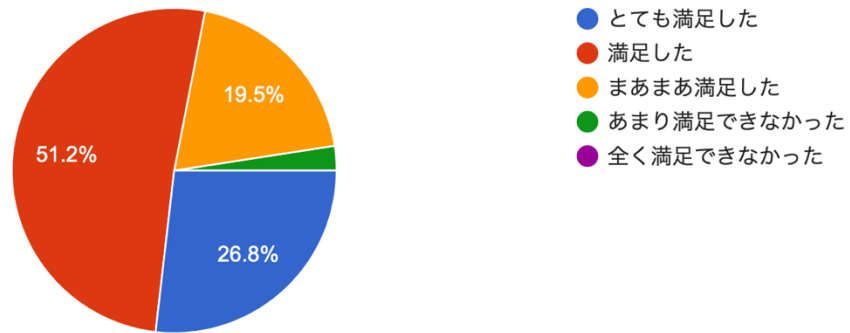


第 10 回プラスチック削減オンライン連続セミナーアンケート結果

本日のセミナーの満足度を 5 段階からお選びください

41 件の回答



本日のセミナーの中で最も印象に残ったところは何でしたか

1	フランスでの先進的な具体的施策や取り組み事例
2	フランスなどの国々のリユース容器促進に対する政策
3	日本の取り組みが遅々として進まない原因は何か？がはっきりしないこと
4	拡大生産者責任について
5	日本とフランスを比較的視点から議論すること
6	法的なことばかりでなく、もっとフランスの市民の実態を知りたかった。
7	フランスの年を追うごとの政策展開。
8	強権的とも思えるフランスの脱プラ政策を進める至った経緯を知りたいです。
9	フランスの段階的使い捨てプラスチックの削減政策
10	EPR とフランスが着々とプラごみ問題に取り組んでいること。
11	日本がいつの間にか後進国になっていて、それに気づかず暮らしている現状...使い捨てから脱却できない、EPR が進まない、プラ容器循環法も中途半端と、いつもながら残念でなりません。これとは別ですが、内容を途中はしよったところがあったので、資料を頂けたら良かったです。
12	OECD の EPR 政策において環境配慮設計への効果が限定的というのは、処理費用の事業者負担が少ない(つまり製品価格への内部化が不十分)だからではないか。日本の容り法はその典型だと思う。これを見直さなければ EPR の本質は実現されないのではないか。 サーキュラーエコミーが前面に出るほど、EPR の影が薄くなるように見える。サーキュラーエコミーは EPR を徹底した結果として出てくるべきものだと思う。

	本日のスライドに興味深い情報が多数ありました。参加者には資料のファイルを提供していただきたく、よろしくお願いします。
13	フランスの制度が進んでおり、トップダウンで確実に脱プラが進んでいることがわかった。
14	フランスの取り組みに関して、今後参考になる点が多い
15	フランスの循環経済法の内容が非常に具体的に示され、進められていること。
16	EU、特にフランスの体系的で積極的な施策の数々。
17	最後の一時間しか参加できなかったのが、全体的にはわかりません。が、フランスの目標設定の明確さ、その実現に向けた政策誘導は見習いたいですね。実効性の確認が必要ですが。
18	フランスや諸外国での、お店からプラスチックを削減する具体的な取組(量り売り、リユースなど)を紹介いただいたこと。
19	「日本にEPRが定着しにくい背景に、持続的デフレ体質があるのかも知れない。適度なインフレが必要とされるのかも知れない。」このように述べられたと思います。価格転嫁の可否はEPRの大きな要素のひとつと理解しておりますので、興味深いポイントを指摘されました。山川先生によりしくお伝えくださいますよう。
20	フランスのEPRは、エコ調整、ボーナス制度などいろいろな苦勞をしながら育てているな！日本は、導入段階にも着手できないのにな。
21	EU、特にフランスではかなり強力に、しかも実情に合わせて具体的に政策を進めていること。
22	フランスの取り組みに脱帽
23	フランスのEPR政策の力強さ、それを受け入れる社会
24	日本のepr政策がちっとも進んでいないのが残念ですが、デポジット制度の確立がプラ削減、ポイ捨てに効果があるのは皆さん知っているのですね。
25	大変勉強になったセミナーでした。有難うございました。 プラスチック全般について(マイクロプラスチックも含めて)データ等を使った説明で現状・実態が大変良く分かりました。また、プラ削減に向けて着実に進んでいくフランスの話は、文化・価値観など日本と様々な違いがあるものの、私たちも“進むべき道”であるのでは、と強く感じました。 “使い捨て”をいかに生活から排除していくか、まずは自身の生活を今一度見直したいと思います。
26	フランスで製造者責任が義務化されていること
27	EU、とりわけフランスの取り組み。日本との差にいつも愕然とする。

28	フランスの“使い捨てプラからの脱却”のロードマップが、EPRの原則に基づいて作成されたことを賞賛したい。代替品探しより「リユース」をルール化することで、EPRの実現を目指す姿勢に賛同。EUの「循環経済」戦略に対し、国内法の目指す先が具体的にわからないことが懸念される。
29	フランスでは2040年までに使い捨てプラスチック容器包装を禁止することを決め、実現のため、年代を追って方策を決めていること。
30	フランスの取り組み
31	EPRが日本で促進されない理由...国民・消費者・我々がキチンと考えなければと思いました。
32	噂では聞いていた仏のプラ対策の実情を知れた。
33	海外と日本人の基本的考えの違い
34	EUやフランスの脱プラスチック政策は、日本と違い目標を指針として、出来れば良いというのではなく、着実に前に進むために何をしていくかを具体的に掲げ、実行に移していることがわかった。日本も、大企業の顔色を伺うのではなく、もう少し強く実行計画を出してほしいと思った。
35	EPRの制度が出来たとき、これでごみ減量は進むと思ったが、EU諸国で進んでいるのに日本が遅れているのが情けない。
36	2040年を目途にしてのフランスの超具体的なプラ削減政策。ただし、市民の反応はどうか？
37	日本はまだまだ出遅れているのかと感じた。もっと関心を持ち意識していきたいと思った。
38	日本のプラスチックにおける対策の遅れがとても気になりました。なぜここまで法整備などできないのでしょうか？
39	EUのEPRと循環経済について 活動に参加し始めてから1年しか経たない新参加者です。この1年、学習会に参加したり、本やネットで知識や情報を増やしているところですが、まだまだ勉強不足です。 そんな私にはスライドが瞬時に読み取れず、理解が追いつかない部分もありました。 手元に資料があれば復習できるのにと感じていたところでした。 録画を見せていただけのでしたら、こんな嬉しいことはありません。 ありがとうございます。
40	フランスの取り組みが印象に残りました。日本が遅れていることに頭が痛い。一人ひとりの意識が大切。自分も発信していきます。ありがとうございました。
41	海外の取り組みをととても詳しくお話をお聞きすることができ、日本の対策はかなり遅れていることを知る機会になり、さまざまな学びがありました。ありがとうございました。

本日のセミナーの難易度を5段階からお選びください

42件の回答

